

平成 21 年 10 月 30 日

各 位

会社名 株式会社日本一ソフトウェア
 代表者名 代表取締役会長 北角 浩一
 (JASDAQ・コード番号：3851)
 問合わせ先
 役職・氏名 取締役管理部長 世古 哲久
 電 話 058-371-7275

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）におきまして、下記のとおり特別損失を計上するとともに、平成 21 年 5 月 15 日付で公表いたしました平成 22 年 3 月期の業績予想（連結・個別）を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

投資有価証券評価損の計上

当社が保有する投資有価証券において、時価が著しく下落しているものについては減損処理を行うこととし、投資有価証券評価損 4 百万円を特別損失として計上いたします。

○平成 22 年 3 月期第 2 四半期における投資有価証券評価損

	個別	連結
(A)平成 22 年 3 月期第 2 四半期会計期間（平成 21 年 7 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日まで）の有価証券評価損の総額（＝イーロ）	4 百万円	4 百万円
(イ)平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日まで）の有価証券評価損の総額	4 百万円	4 百万円
(ロ)直前四半期（平成 22 年 3 月期第 1 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 6 月 30 日まで）の有価証券評価損の総額	一百万円	一百万円

※四半期における有価証券の評価方法は洗替え方式を採用しております。

※当社の決算期末は、3 月 31 日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	個別	連結
(B)平成 21 年 3 月期末の純資産額	844 百万円	1,103 百万円
(A/B×100)	0. 47%	0. 36%
(イ/B×100)	0. 47%	0. 36%
(C)平成 21 年 3 月期の経常利益額	11 百万円	155 百万円
(A/C×100)	36. 36%	2. 58%
(イ/C×100)	36. 36%	2. 58%
(D)平成 21 年 3 月期の当期純利益額	△153 百万円	△65 百万円
(A/C×100)	—%	—%
(イ/C×100)	—%	—%

2. 業績予想の修正

平成 22 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想（A）	903	△62	△70	△91	△4,359円33銭
今回修正（B）	971	40	49	21	1,025円37銭
増減額（B－A）	68	102	119	112	
増減率	7.5%	—	—	—	

平成 22 年 3 月期 第 2 四半期個別累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想（A）	385	△117	△121	△121	△5,823円28銭
今回修正（B）	530	△6	△1	△4	△219円05銭
増減額（B－A）	144	111	120	117	
増減率	37.5%	—	—	—	

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正

当社が平成 21 年 5 月 15 日付で公表いたしました「平成 21 年 3 月期決算短信」記載の平成 22 年 3 月期業績予想に対して、売上高については、日本国内において平成 21 年 3 月 26 日に発売いたしました『魔界戦記ディスガイア 2 PORTABLE』のその後の追加受注が好調に推移したことを主たる要因として前回予想を上回る見込みとなっております。

営業利益については、売上高の増加要因に加え、経費等のコストの削減・業務効率の改善等を要因として前回予想を上回る見込みとなっております。

経常利益については、上記事項に加え為替変動による為替差益等を要因として前回予想を上回る見込みとなっております。

四半期純利益については、上記事項に加え 1.特別損失の計上に記載のとおり投資有価証券評価損 4 百万円の影響を受けたものの前回予想を上回る見込みとなっております。

(2) 個別業績予想の修正

個別業績予想につきましても、上記と同様の理由により修正いたします。

(3) 通期業績予想

平成 22 年 3 月期の通期業績予想につきましては、当第 2 四半期累計期間の業績は順調に推移しているものの、需要動向及び為替相場の動向などを不安材料とした厳しい事業環境が予測されることや、下半期（平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）発売予定の商品の販売動向はいまだ不確定な要素を含んでいるため、平成 21 年 5 月 15 日に公表した当初予想を変更しておりません。今後の業績動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

平成 22 年 3 月期の業績予想は以下のとおりであります。

(連結)

売上高	2,721 百万円	(前期比 31.2%増)
営業利益	112 百万円	(前期比 32.1%減)
経常利益	89 百万円	(前期比 42.7%減)
当期純利益	53 百万円	

(個別)

売上高	1,788 百万円	(前期比 38.8%増)
営業利益	30 百万円	(前期比 19.1%増)
経常利益	21 百万円	(前期比 88.2%増)
当期純利益	12 百万円	

尚、当社の平成 22 年 3 月期第 2 四半期決算短信は平成 21 年 11 月 6 日に発表する予定となっております。

(注) 上記予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上